

ヨシナカ新聞

2月号
発行所
株式会社ヨシナカ
東京営業所
TEL: 03-3555-0796

クロノスタシス

アナログ時計を見た直後だけ、秒針の動きが遅く感じてしまうことはないでしょうか。この現象は、自分の周囲だけ時空が狂ってしまうことで発生するわけではなく、「クロノスタシス (Chronostasis)」という名前と呼ばれています。

Chronostasisはギリシア語で時間を表す「chrono」、持続を意味する「stasis」を組み合わせた言葉です。



原因として考えられているのは、目を動かした際に視界がぶれないように調整する脳のはたらき。目から得た視覚情報を認識しやすいように処理する影響で、実際の時間と感覚的な時間に小さなズレが生じてしまうというわけです。ロンドン大学・Kielan Yarrow氏らの論文によれば、「クロノスタシスは目を動かすたびに起こる」とのこと。時計のように時間の流れを客観的に示すアイテムがないと気付くにくいだけで、実際にはかなり身近な現象のようです。

錯覚によって私たちの脳は、実際よりも僅かに長い間時計を見ていたと認識し、秒針が1秒以上固まっていたという錯覚を生みます。眼球運動の度にこの現象はおきているのですが、何か時間が計れるものがある場合に顕著になるのでそれ以外の場合それに気づくことはほとんどないようです。

ちなみに、「聴覚的クロノスタシス」という現象も。こちらは片耳で聞いていた音が突然、反対側から聞こえてきた場合に起こるそうです。

K社員のピアノ奮戦記第二章

途中から急にテンポが早くなる【月の光】、ここから練習が全進捗なくなりまして、メロディーラインが全く頭に入って来ないのです。bが6つなので、譜読みが大変なことに加えて、ゆっくりの練習なので、どこがメロディーでどこが伴奏なのかも殆んどわかりません。全く知らないアラブの曲を練習しているような感覚に、私の脳は明らかに拒絶反応を示していました。もうこれ以上は無理だ、いつ先生にリタイアを御願いしようかと思っていた時に、音楽仲間から「1ヵ月後に、今練習している曲の途中経過発表会をしませんか」という連絡が「Eのグループに入ってきた。曲が完成していても構わない」と書いてあったそのメッセージに、譜読みを終えた状態で参加したいと、わけのわからない事を考えた私は、どうすれば現在の状況から脱することが出来るのかを考え出しました。

Windows10のシャットダウンと再起動

ある朝、出勤してパソコンを起動したところ、ネットに繋がりませんでした。wifiを設定しなおしたり、シャットダウン→起動を何度も繰り返したのですが、全く繋がりません。もしかしたらルーターの異常なのかと思い、出勤して来た社員のパソコンを確認して貰ったら、ネットは普通に繋がります。

どうしたらいいのかと、同じような現象はないのかとネットで調べてみたら、再起動させたら解決するような事が書かれていましたので、再起動してみると、何事もなかったようにすぐ解決しました。

Windows 10を終了する場合、初期

設定のスタートメニューでは「スリープ」「シャットダウン」「再起動」の3種類から選べるようになっていいます。このうち、シャットダウンは文字通り「PCをシャットダウン（システムを終了）して電源オフの状態にする」、再起動は「PCをシャットダウンしてから直ちに起動する」ということで、システム終了の動作までは同じだと考えるのが一般的ではないでしょうか。

しかし、日本マイクロソフトのカスタマーサービス・サポート公式twitterアカウントであるマイクロソフトサポート (@MSHelpsJP) は、Windows10でトラブルが発生した場合はシャットダウンからの電源オンではなく、

再起動を試すよう、ユーザーに注意を促しています。

Windows 10では「高速スタートアップ」機能が初期設定で有効になっていて、終了時に「シャットダウン」を選択すると高速スタートアップが有効のまま電源がオフになります。高速スタートアップとは、シャットダウン時にPCのシステム情報をファイルに保存することで、シャットダウン後に素早く起動するための機能ですが、あらかじめ保存されたデータが起動時に読み込まれることで問題が起きる場合があるため、トラブルが発生した場合には高速スタートアップを利用しない「再起動」が推奨となるわけです。

ステンレス豆知識
なぜステンレスは、車であまり使われないのか？
インターネットで「自動車」「ステンレス」をキーワードに検索したところ、『なぜステンレスは、車であまり使われないのか？』というサイトが見つけられました。鉄道ではよく使われるステンレスが、どうして自動車ではあまり用いられていないのかというテーマで書かれていました。
結論から言いますと、ステンレスが、鉄よりも硬くてプレス成型がしにくいという欠点を持つていること、また、鉄よりも硬い性質はその分、金属疲労が起きやすく、頻繁に振動や衝撃を繰り返す受け取る部位では思わぬダメージが発生する、というリスクを考えてのことだそうなんです。
現代のクルマは、ほとんどがモノコック構造（車体の外板に応力を受け持たせる構造）で造られています。ボディ全体で骨格を形成するモノコック構造は、複雑な形状をしていて、鉄をベーパー加工のしやすさやハイテン鋼といわれる高張力鋼板が使われているからなんです。